

## 平成27年第12回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成27年12月18日 午後3時30分
- 2 閉会 平成27年12月18日 午後4時55分
- 3 会議に出席した委員  
花井 隆教育長、横田 威委員、金原真人委員  
山本明子委員
- 4 会議に欠席した委員  
土井真紀江委員
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 前田和宏  
教育部次長兼図書館長 豊田高広  
教育総務課長 鈴木 努  
学校教育課長 鈴木欽也  
文化生涯学習課長 鈴木洋充  
スポーツ課主幹 青木康広  
教育企画室長 三竹雅雄  
教育企画室主任 清水綾子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 平成27年12月18日(金)  
午後3時30分  
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 議題
  - (1) 教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について
- 4 報告事項
  - (1) 教育委員連絡報告事項
  - (2) 学校再編について
  - (3) 田原市議会第4回定例会一般質問について
  - (4) 田原市生涯学習振興計画について
  - (5) 田原市スポーツ推進計画について
  - (6) 平成28年度田原市成人式について
  - (7) 第10回愛知県市町村対抗駅伝競争大会結果等について
- 5 その他

教育長

開 会 午後 3 時30分

御多用のところ御出席くださいます、ありがとうございます。

土井委員から欠席の連絡がありました。

定足数に達していますので、平成27年田原市教育委員会第12回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、横田委員と山本委員の御兩名を指名させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、議題に先立ち教育長報告事項をお願いします。

前回の定例教育委員会以降の日程について報告いたします。

11月22日、伊勢湾スポーツ交流軟式野球大会。

11月25日、市校長会研修会では、名古屋のいじめによる自殺が11月にありましたので、いじめ問題と人権週間についてお願いしました。

11月27日、名古屋フィルハーモニー交響楽団による「夢いっぱいの特等席」福祉コンサートがライブポートとよはしで開催されました。豊橋市、豊川市、田原市などの特別支援学級、特別支援学校の子供たちが集まってくれました。

11月28日、午前、福江小学校、午後、清田小学校の学芸会に行きました。地域の人たちも結構集まって見ておられました。

12月1日、3日、4日と田原市議会の本会議が3日続きました。

12月5日は、愛知県市町村対抗駅伝がモリコロパークであり、選手の頑張っている様子を見てまいりました。

12月12日、小川泰弘投手「少年野球教室」で、滝頭野球場へ行ってあいさつしました。約300人の小中学生が集まって、ヤクルト3選手の指導を受けました。

その後、田原市小中学校PTA連絡協議会の教育講演会が赤羽根文化会館であり、「子どもの力は学び合ってこそ育つ」というタイトルで、北陸学院大学の金森教授の御講演がありました。私たちでは感じ取れないような感性の中から、子供を大事に見る目を教えていただきました。

12月13日、田原市スポーツ少年団総会がありました。

午後はスポーツ大好き講演会ということで、小川泰弘投手が講演をされました。私は名古屋へ行き、あいち山車まつり日本一協議会発起大会に出席しました。

12月17日、学校と地域が協働するまちづくりセミナーでした。学校と地域を結んでまちおこしをするというところでの講演会でした。講師の方が今まで扱ったまちおこしの事例を発表していただきました。

12月18日の午前中に消防職員意見発表会で、8名の消防職員が元気

教育総務課長

よく発表した意見について、私が指導講評を行いました。

あす12月19日から、宝くじ公演で、森 公美子さんが渥美文化会館でコンサートを行います。まだ当日券はあります。

最後に、学校再編関係では、12月7日、赤羽根中学校区、12月9日には福江中学校区に出向いて説明をしております。

以上です。御質問等がございますか。

教育長の報告事項は終わり、議題に入りたいと思います。

初めに、議案第31号 教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

議案第31号 教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について。内容につきましては、先月、11月の教育委員会定例会で御協議いただきました市議会の提出議案、田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例、田原市市民館の管理運営に対する規則の一部を改正する規則と同様に、コミュニティ協議会の取り扱いの変更に伴いまして、校区を単位にするのではなくて、地区を単位にすることに伴う改正で、1カ所、見落としがありましたので、今回、お願いするものでございます。

教育長に対する事務委任規則（昭和39年田原町教育委員会規則第5号）の一部を次のように改正する。

第1条第1項第9号中、「校区市民館主事」を「地区市民館主事」に改めるものでございます。

附則といたしまして、この規則は公布の日から施行するというので、先ほど申しあげました条例、規則と同じ日に施行する予定です。

新旧対照表をごらんください。「校区」という文言を「地区」と改めるということで、第1条第1項第9号中「校区市民館主事」を「地区市民館主事」と変更するものでございます。説明は、以上です。

教育長

ありがとうございました。

御質問等ございましたら、お願いいたします。

では、お諮りいたします。

議案第31号 教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

教育長

御異議なしとのことですので、議案第31号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、報告事項に入ります。

初めに、教育委員連絡報告事項について、委員の方々から報告をお願いします。

横田委員

前回からきょうまで、去年は非常にたくさんありましたが、今回は行事等への参加はありませんでした。以上です。

金原委員

12月12日、田原市小中学校PTA連絡協議会の教育講演会がありました。北陸学院大の幼児児童教育学科の金森教授の話がとてもわかりやすく、参考になりました。もう少し質疑応答の時間をとっていただければよかったですと思いました。

山本委員

私は、11月21日、中部小学校の学芸会に参加させていただきました。「崙山劇」と、6年生が演じた「火垂るの墓」でした。「火垂るの墓」は、話を知っている方も多いいと思いますけれども、よく子供たちができたなあと感激して、心に残りました。

12月17日、学校と地域が協働するまちづくりセミナーと、その後のワークショップに参加しました。

人口が減少していく中で田原の観光は、これからずっと存続していけるのか。観光だけではなく、人口減少、産業、そういうことも考えていかなければいけないというのがすごく勉強になりました。

教育長

次に、学校再編についてお願いします。

教育企画室長

では、学校再編について御報告いたします。

11月の定例会で御報告したとおり、11月17日に泉校区意見交換会、11月20日に堀切校区、11月24日に和地校区、11月25日に伊良湖校区での意見交換会を開催しました。

伊良湖岬中学校の統合につきましては、第2回伊良湖岬中学校統合検討委員会において出た意見とよく似ております。

「中学校が統合してからのことが心配で不安だ。統合を急がなくてもよいではないか」、「小6で統合、また中学校で統合と、2回続くのは負担になる」、「中学校の統合時期をおくらせることが選択肢の1つではないか」、「伊良湖岬中学校の統合については強く延期を望む」という声の方もありました。中には、「統合を心配している家庭と、そうでない家庭もある」、「伊良湖岬小学校がまとまって、いずれかの学校へ動くほうがよい」という意見もありました。

あと、「伊良湖岬小学校の建設が先行していて、急いで校舎を建てなくてもいいのではないか。子供のことを考えてほしい」、「伊良湖岬中学校の統合を決められない状況では、伊良湖岬小学校の建設を見直してはどうか」という御意見もありました。そうした反面、「伊良湖岬小学校を予定どおり平成32年度に新設してほしい」といった意見もありました。あと、「新しい中学校を渥美地域につくってくれるなら、そちらへ行きたい」、「福江中学校を改築して渥美中学校へまとまっていったほうがよいのではないか」という意見もありました。

泉中学校については、「急いで統合するよりも小規模校でもよいではないか」、あと、伊良湖岬中学校の統合につきましては、「学校までの距離を考えると福江中学校のほうがよい」という声が多かったです。

また、12月7日には赤羽根中学校区、12月9日には福江中学校区に対して説明に出向きました。

赤羽根中学校区では、赤羽根、高松、若戸のコミュニティ協議会のメンバーの皆さんが45人ほどいらっしゃいました。その中では、伊良湖岬中学校と泉中学校の動向などを説明いたしました。

その中で、「他校から来てもらうのは大変歓迎だ」、校区のまちづくりを考えていく中で、例えば、「若戸小学校と高松小学校が赤羽根小学校に統合となる可能性があるのか」など小学校の統合のことも気にされていました。「小学校1校、中学校1校で、人数が少なくなっていけば、また中学校も統合するのか」などの意見もありました。

福江中学校区では、校区会長、自治会長、PTA会長、PTA役員の方々の23名の方々と話をさせていただきました。「新設の渥美中学校ができるのか」、「福江中学校の4小学校はこのままでもよいではないか」などの意見もありました。「平成27年度末までに意見がまとまるのか」と心配しておりました。「伊良湖小学校が分かれて福江中学校と赤羽根中学校に統合するのではなくて、福江中学校の建て替えをして1つの中学校に行ったほうが良い」という意見もありました。

次に、伊良湖岬小学校建設工事基本設計業務について、公募型プロポーザル方式で審査を行いました。業者に企画を提案してもらって、その中からすぐれた提案を行った業者を選定するという方式で行ったものでございます。

事業の概要として、伊良湖岬中学校の敷地の北側の用地を取得して、新しく、地域の自然環境に調和した快適な学習空間を創出するというコンセプトのもとに計画していきたいと思っております。

校舎の面積といたしますと3,100㎡程度で、普通教室6、特別教室、多目的スペース、屋内運動場、グラウンド、プール、放課後子ども教室の併設、防災倉庫も備えていってはどうかと考えております。

提案された内容を審査し、業者を選定した後、これをもとに、建築サイドと一緒に、どういう学校にしていくかを具体的に考えていくこととなります。よろしく願いいたします。

以上です。

教育長 ただいま事務局からの説明がありました学校再編について、質問等ございましたら、お願いします。

山本委員 平成27年度は今ですよね。平成28年3月までに、ある程度、中学校の行き先を決めたいということですか。

教育企画室長 そういうことで今までは進んでいます。

教育長 伊良湖岬中学校については、今まで平成27年度末までに行き先を決めるということやってきたのですが、今の状況で意見もたくさん出ています。

山本委員 平成27年度末に、もしどうしても決着がいかない場合は、伊良湖岬小学校の移転は平成30年が平成31年になるのですか。

教育企画室長 そういう可能性もあるのかもしれないです。

横田委員  
教育長

中学校の移転がまだ不透明ということですね。

伊良湖岬中学校や泉中学校の再編について、各地域での意見交換をしている中で、子供たちの状況をしっかり見て、子供のために動いてほしいという意見も強くありました。

教育委員会だけではなくて、建築課、土木課の市当局も入って、新しい伊良湖岬小学校の建設工事の基本設計について進んでおりますので、御理解いただきたいと思います。

拙速にやることなく、よくしっかり確かめながら動いていきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思っております。

続いて、田原市議会第4回定例会一般質問について、お願いします。

教育部長

今回の一般質問につきましては、8名の方から質問がありまして、そのうち4名の方が教育関係の質問です。

順番に説明いたします。まず小川貴夫議員は、スポーツ振興施策について。質問の要旨は3点です。

大きな1点目は、昨年9月議会で検討すると言ったことに関して、(1)、体育協会やスポーツ少年団に対する補助金についての質問で、回答としては、平成27年度予算において体育協会やスポーツ少年団からヒアリングを行って拡充しましたと回答しました。

それから、(2)、中学生対象のスポーツ教室の開催については、平成26年12月にアンケートを実施しました。その結果、バスケットボール、バレーボール、野球に加えて、ソフトテニス、バドミントンが挙がっていたので、今後参考にしていきたいと回答しました。

(3)、東京オリンピック・パラリンピックで活躍が期待される選手への支援については、現在は強化選手になっている選手はいないものですから、現時点では考えていないという答えです。

次に、大きな2点目です。スポーツ課が取り組んできたこと、それから、スポーツ振興施策上の課題はという質問に対して、まず、取り組んできたことにつきましては、トライアスロン、それから、サーフィンなどの支援、スポーツツーリズムに取り組んできたこと。

課題としては、成人の週1回以上のスポーツ実施率、これが国の平均よりも低いというのが挙げられておりますと回答しています。

次に、3番目、田原市生涯スポーツ振興計画の策定状況は、今月下旬に3回目の策定会議を開催予定です。1月、2月にかけてパブリックコメントを実施し、2月に決定したいと回答しております。

次に、杉浦文平議員から、全国学力テストについての質問です。

これは、教育長に答弁してもらいました。1点目が、今回の結果について、どう捉え、反省しているのかという質問でございます。

これに対しては、小中学校ともに全国平均よりも低い状況であると。結果を分析し、授業改善をするよう各学校に指示をしたというお答えです。

次に2点目として、これまで学力向上に向けてどう取り組んできたかという質問ですが、各学校の取り組みを情報交換する中で、効果的な取り組みについて、他の学校が取り入れ、全ての学校に有効な取り組みを共通して実施する活動を行ってきたというお答えです。

3点目が、取り組みが結果に結びついていないという質問ですが、昨年の結果が出たのが9月、ことしの調査が4月。したがって、十分な取り組みができていなかったというお答えです。

4点目が、今後の取り組みをどうするのかということですが、この調査は、学習した内容がどの程度習得されているかを確かめることを目的としている。結果を受けて、授業のあり方、家庭学習の方法を見直し、改善していくことが大切であると各学校には周知しているというお答えです。

あわせて、各学校では、その学校の特色や地域のよさを生かして教育活動を展開しているが、こうした活動を大切に、学力向上に取り組んでいくというお答えをいたしました。

次に、3人目が古川美栄議員。伊良湖岬中学校・泉中学校の再編と中高連携についてという質問です。

1点目、中高連携をどのように考えているかにつきましては、市内の3高等学校との連携会議、愛知県教育委員会との話し合いの中から、地域との協働を意識した連携事業を検討しているというお答えです。

2点目、伊良湖岬中学校・泉中学校の平成27年度中の再編決定は予定どおりかという質問ですが、ここでは、平成27年度末までに方向性を出そうと取り組んでいるところですよというお答えをしました。これにつきましては、先ほど教育長が申し上げたとおりでございます。

次に、3点目、渥美地域のまちづくりの観点と新設中学校の建設については、新設中学校の計画はありません。ただ、今後、老朽化による更新時期をにらんで、学校再編を視野に入れて、来年度中に全体の整備計画をつくっていくというお答えをしております。

次に、4人目が大竹正章議員。

運動とスポーツを正しく理解してQOL (Quality of life) を向上させる施策とはということで、1点目、競技スポーツをいかにして底辺からトップまで育てるのかとの御質問です。これについては、競技スポーツは体育協会やスポーツ少年団などの活動で、スポーツを好きになってもらう環境をつくることで底辺の拡大を図っていると。高いレベルを目指す選手については、さまざまな角度から支援をしていくというお答えです。

次に、2点目、多くの市民が運動習慣を取り入れるために何が必要でどう進めていくかという質問ですが、誰でも気軽にそれぞれのスタイルで運動に取り組める場が必要になる。そのためにウォーキングな



	<p>ど、気軽に始められて、継続しやすいスポーツの推進、初心者教室などを通じて運動を始められるきっかけを提供する必要があるというお答えをいたしました。</p> <p>以上が一般質問の質問と答えです。</p>
教育長	<p>一般質問についての説明がありました。</p> <p>御質問等ありますか。</p>
金原委員	<p>学力テストに関連した質問です。市内の学校の授業内容や授業の進め方について、ある程度、市教育委員会のほうから方向性を示しているのか。それとも学校に全て任せているのか。</p>
学校教育課長	<p>個々の授業のあり方については、文部科学省の学習指導要領を基本にやっています。こちらで具体的な指示は出しておりません。</p> <p>ことしにつきましては、算数について清田小学校が研究をして、秋に発表会を行っていますので、清田小学校の研究内容をほかの学校の教務主任が集まる会で情報交換するなどして、学力充実プランという形で、小学校の算数については田原市全体で少し清田方式に取り組んでいます。</p> <p>杉浦文平議員がおっしゃるのは、例えば、上位校だけでも発表して、いいところをほかに取り入れてはどうかということでした。</p> <p>結局、序列化をはっきりさせる形では、それが問題になると考えます。確かに、成績がいい学校があつて、ほかの学校でも取り入れる余地があれば、ぜひ周知はしたいと思っています。もともとはそれぞれの学校でどれだけ学力が子供たちに身についたのかを調べるための検査であるはずだったのが、いつごろからか、県別の序列が問題視されるようになってしまったようです。</p>
横田委員	<p>昔は「結果を公表しない」という方針であったのが、だんだん学校名も公表するようになって、目的が本当は違うのに、意識がだんだんそちらへ向いてしまっています。</p>
教育長	<p>委員がおっしゃるのが正統的な考え方なのですけれども、だんだん年数を重ねるうちに、目的が違う方向になってしまっています。</p>
横田委員	<p>学校では観点別のテストなどをやっている。全国学力テストの結果より、観点別テストなどは個に返ってくるので、そこを生かしたほうがいい。</p>
学校教育課長	<p>私たちとしても、結果は真摯に受けとめて、少しでも改善を図るように学校にも伝えております。</p>
横田委員	<p>学力の低い子を少しでも上げていくようなことを学校運営の中でやっていくのが、結果的には、6年生になって学力に生かされてくると思います。</p>
教育長	<p>次に、田原市生涯学習振興計画についての報告をお願いいたします。</p>
文化生涯学習課長	<p>田原市生涯学習振興計画についてですが、現在あります生涯学習推進計画の改訂版として策定に取り組んでおります。現計画につきまし</p>

ては、平成28年度まで、来年度までの計画ということでございますが、本年、教育大綱を策定するというのもございまして、1年前倒しで改訂に取り組んでおります。

策定の体制ですけれども、生涯学習ということですので、社会教育委員会を中心に、委員16名の方をお願いいたしまして、プラス、コンサルタント関係のアドバイザーの方にも1人入っていただきまして、策定会議で案の作成に取り組んでおります。

各委員につきましては、資料2ページに記載のとおりでございます。

計画の骨子案ですが、現在のところ、3回の策定会議を経て、基本理念を教育大綱にあわせて、「ふるさとに学び 人が輝く 田原のひとづくり」とすることから、計画期間を平成28年度からの5年間、重点目標については、4つを重点目標として据えていこうと固まってきておりまして、次の資料3ページを見ていただきますと、その下に、それぞれ取り組む施策等ということで、各重点目標にぶら下がってくる施策、それから、さらにこの下にアクションプランを構築いたしまして、最終的に計画案としていきたいということでございます。

スケジュール関係ですけれども、先ほども申しましたように、これまで3回の策定会議を開催してきておりまして、おおむね取り組む施策まで固まってきております。

年明けに、もう一度策定会議を開催いたしまして、その後、1月から2月にかけてパブリックコメントの手続をいたしまして、そのパブリックコメントの意見を踏まえて、議会に報告をし、その議会の意見も踏まえて、3月に最終の5回目の策定会議を行いまして、その後、3月の教育委員会で決議をいただきたいと考えております。

計画策定については、以上です。

教育長

田原市生涯学習振興計画について、事務局の説明がありました。

御質問等ございましたら、お願いします。

よろしいでしょうか。

スポーツ課主幹

続いて、田原市スポーツ推進計画についての報告をお願いします。

田原市スポーツ推進計画について御報告します。

これは、国のスポーツ基本法に定められている地方のスポーツ推進計画ということで位置づけられております。

簡単に、スポーツ推進計画とは何ぞやと。いわゆる、スポーツを楽しむ、あるいは楽しむスポーツというような形を目標にしております。

策定の趣旨でございますが、市の生涯スポーツ社会の実現と、市民の健康増進及びスポーツ事業による地域の活性化を実現させるために取り組んでいる計画でございます。

計画の位置づけにつきましては、先ほど申しましたように、国あるいは県のプランを踏まえて策定するものでありますし、また、市の総合計画、教育大綱、田原市教育振興基本計画、あるいは緊急課題対策

プランなどの個別計画での計画の方向性を踏まえまして本市の推進のためのスポーツ振興を行っていくものであります。

1枚はねていただきまして、策定体制でございます。

先ほどの計画と同じように、大学教授、スポーツ顧問アドバイザーまで14名の委員で構成している市のスポーツ推進計画策定委員会を設置して、ここで計画の原案を策定しております。

内容につきましては、(1)から(5)まで、計画の期間、アクションプラン、定義、3つの視点としまして、(5)の基本施策としましては、1、スポーツの機会の充実、2、スポーツ組織・人材の充実、3、スポーツ施設整備・充実、4、スポーツによる地域の活性化ということで、7月、8月、10月に3回策定委員会を開催いたしました。12月24日に第4回目の策定委員会を行う予定でございます。

スケジュールにつきましては、国の生涯学習計画と同様な形で、1月、2月においてパブリックコメントを行い、2月末には大体の骨格をつくり、議会に提出して、決めていく形でございます。

1枚はねていただいて、田原市スポーツ推進計画の体系図が掲載してあります。目指すものは、「スポーツ大好き田原」。この施策の目標としまして、先ほど申し上げました1番から4番の目標。各目標に対するそれぞれの事業が真ん中にございます。視点・目標をそれぞれの事業に係る「スポーツをはじめよう」「スポーツを楽しもう・広めよう」「スポーツを高めよう」という視点で事業を実施していく予定です。

簡単ですが、計画の説明とさせていただきます。

教育長

ただいま事務局の説明がありました。

スポーツ推進計画について、御質問等がございますか。

山本委員

田原市スポーツ推進計画の体系図は、すごくおもしろいと思います。これは、スポーツ課の方がある程度素案をつくったのでしょうか。

スポーツ課主幹

策定委員会で出されたと記憶しています。

教育長

ありがとうございました。

では、この田原市スポーツ推進計画も、先ほどの田原市生涯学習振興計画とともに進んでいきますので、御理解いただきたいと思います。

次に、平成28年田原市成人式についての報告をお願いします。

文化生涯学習課長

既に、来賓案内は委員の皆様方に届いているかとは思いますが、平成28年田原市成人式としまして、1月10日の日曜日午前10時から、田原市総合体育館のアリーナで行います。

式典の内容については、例年とそれほど変わりありません。10時に開始いたしまして、10時40分ころには式典を終了して、その後、各中学校単位に記念撮影をしていく予定です。

平成27年の対象者は、840人が対象で、出席者が612人で、本年につきましては、田原市に住所を有する方の対象者が、男が426人、女が384人、合計810人となっております。

	<p>あと、高校くらいまで田原で過ごされて、その後、大学進学等で住所を移されている方も田原市の成人式で受け入れします。きょう現在で、市外の方から44名の参加申し込みを受けております。</p>
教育長	<p>来年の成人式についての説明がありました。 御質問等ありますでしょうか。</p>
山本委員	<p>プラスの演奏など、成人式のアトラクションの予定はありますか。</p>
文化生涯学習課長	<p>それは予定しています。</p>
教育長	<p>次に、第10回愛知県市町村対抗駅伝競走大会結果について、報告をお願いします。</p>
スポーツ課主幹	<p>第10回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が今月の5日土曜日、県のモリコロパーク、愛・地球博の記念公園で行われました。資料にもありますように、第5位、1時間34分4秒という形で終了しました。中でも第6区、大草小学校の吉居駿恭選手が区間賞をいただいております。</p>
教育長	<p>次に、田原リレーマラソンについて報告をお願いします。</p>
スポーツ課主幹	<p>次の12月6日に、サンテパークたはらで田原リレーマラソンが開催されました。出場チームは62チームが参加しました。1位はトヨタ自動車田原工場。5位、ゼッケン31番警防チーム、9位のゼッケン33番救助チーム、17位、ゼッケン30番の救急チーム、この3チームは田原市消防本部関係のチームで出場しております。33位は、ゼッケン58番、チーム市役所でございます。それから、39位、ゼッケン19番、チーム市議会の計5チームが市役所関係で出場しています。</p>
教育部長	<p>このチーム市役所は、スポーツ課中心のチームです。</p>
金原委員	<p>これは1人何キロメートル走るのですか。</p>
スポーツ課主幹	<p>1周約1.5キロメートルのコースを計14周。ハーフマラソンをタスキリレーするもので、1人最低1周で、1チームは5人から7人です。</p>
横田委員	<p>1位と最終チームで1時間の差があるので、運営するのは大変だったと思います。</p>
教育長	<p>その他、何かありましたらお願いします。</p>
教育部長	<p>広報たはらの報道機関発表資料をごらんください。 きょう、スポーツ課長が市長とともに知事のところに東京オリンピック・サーフィン競技の招致について、依頼しております。 来週の12月22日に県知事と市長とともに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の副事務総長、スポーツ庁鈴木大地長官、遠藤利明大臣、日本サーフィン連盟の理事長のところ招致活動に行く予定です。 要望者は、愛知県知事、田原市長、渥美観光ビューロー誘客部会長、衆議院議員の根本幸典さん、伊藤 渉さん、愛知県議会議員の公明党の渡会克明さん、田原市議会議員の辻 史子さんの予定です。これを報道機関に発表するものです。 以上です。</p>

教育長

この間の土曜日に、「田原で五輪サーフィンを」ということで新聞記事に出てしまいました。県とともに、議員さんを伴って東京に行きますので、結果はどうなるかわかりませんが、赤羽根をPRする、田原市全体も含めてPRするいい機会になるといいと思っております。

そのほかどうでしょうか。

(「ございません」と言う者あり)

教育長

ないようですので、本日の議事等、全て終了いたしました。

御協力、ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第12回定例会を閉会させていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後4時55分